

安全就業だより

(社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター
安全就業委員会発行
会員ニュース第8号
(平成22年12月)

いよいよあわただしい年の瀬となり、剪定、除草、襖・障子張り、室内清掃など多くの職種でお正月前作業に追われています。今年も最後まで安全就業で、新年を明るく迎えたいですね。

連続無事故日数(12/15現在)

傷害事故	382日
賠償責任事故	180日
交通賠償事故	134日

ただ今、記録更新中!

ついに無事故連続日数が1年を突破しました!
念願の『傷害事故ゼロ』。
センター設立以来の快挙です。



無事故チャレンジ運動2010

は、残念ながら達成できませんでした。7月から10月までの4ヶ月間、2件の賠償責任事故(交通事故物損)が発生。しかし、無事故にはならなかったものの例年のない猛暑の中、傷害事故ゼロで乗り切れたことは、やはり大きな成果だと言えます。

最近、「ヒヤリハット」や「改善提案」の提出がありません。毎日、多くの会員さんが就業され、移動、作業と行動をしています。「ヒヤリ」がないなんてことは、決してないはず。 「ヒヤリ」を見逃さない目を持ち、未然に事故を防ぎましょう。

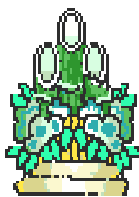
死亡事故を経験し事故が多発した平成19、20年度以降、今日まで大変長い道のりでした。数字は単に結果に過ぎませんが、安全を本気で考え努力して下さっている全ての会員さんに、ひとつの区切りとして今ここに感謝を申し上げます。特に職群班長、リーダー、安全就業委員の方には、同じ会員でありながらも厳しい立場で(ご苦勞も多かったことと思います)安全指導にご尽力いただきました。

今のような状況を持続していくのも、また事故を増やしてしまうのも、私達会員の思いと努力次第です。

何よりこわいのは、「慣れ」と「過信」。安全は「ひとつひとつ」かつ「毎日毎日」の積み重ね、繰り返しです。作業の基本を無視したり、交通マナーを守らなければ、いつか必ず事故が起きます。ほんの一瞬のほんのちょっとした事で事故は起きます。身体機能の低下を十分に自覚して、常に慎重、謙虚に就業にのぞんでください。

新年安全祈願を行います

安全への決意を新たに新年のスタートをきりましょう。



【日時】

平成23年1月6日(木)
午前10時より

【場所】

御勢大霊石神社
(みせたいれいせき)

小郡市大保1033
大保公民館横



速報！ 県内途上死亡事故発生

発生日時 平成22年12月4日(土)午後5時頃
 会 員 女性 74歳
 作業内容 農作業(ミカン収穫)
 発生状況 作業を終え原付バイクで帰宅中、農道脇に
 駐車していた軽乗用車に追突し転倒したと
 ころを後続の原付バイクに衝突された。(道
 路幅約10m、片側1車線)

安全運転講習会より



自転車使用時は必ずヘルメットを着用してください。

バイク、自転車、自動車それぞれの安全運転講習会を開催しました。
 (9月~11月)
 126名受講

私達の命を乗せているタイヤ。なのに自転車、バイクともに空気圧不足が多く見受けられ、指導を受けました。



見通しの悪い路地から出るときの正しい一時停止の仕方。このあと各自が実際にしてみました。停止線で確実に止まる、車の鼻先を少しずつ出しながら左右の安全確認をする。ないがしろにされがちな基本のきの字です。



車から見た死角(ロープ内)の検証。↑
 この死角になる位置は、「遠慮深い日本人が待ちたい位置」だそうです。信号待ちのときは、遠慮なく車の前に入るか、バイクなら真後ろについた方が安全。

1月より本年度の就業年齢制限の通知、面談を実施します。ご協力をよろしくお願い致します。



脚立使用方法勉強会をしました 《小郡本所植木剪定班》

11月22日、松のもみあげ実習後、脚立の安全な使用方法について勉強会を実施。脚立は左右の揺れに弱いことを検証しました。設置時は体重をかけ前後左右に揺すり安全を確認、さらにはロープで固定をする。一歩間違えれば重大事故となる脚立上作業。念には念を入れて安全対策をお願いします。



この勉強会は、後継者育成と安全指導を目的に剪定班で自主的に計画、実施しました。事務局がお膳立てしたわけではありません。会員さん方のこうした姿勢が傷害事故ゼロに繋がるのだと思います。同様の取組みは剪定班だけでなく、他の職群でも行われているでしょうが、今後とも、各職群で大いに実行していただきたいものです。

両面刷りです